

支援を受けるための団体情報の開示「入門ワークショップ」 in 茨城 ～NPOを支援する側が知りたい情報をきちんと伝えるシートをつくらう～

NPOを持続させていく上では、市民、財団、企業、行政の理解と支持を得て、社会から活動資金を調達できるようにすることが欠かせません。そこで重要になるのが、団体の情報開示です。茨城県が認証したNPO法人は400を超え、企業や財団なども支援先のNPOを選ぶための情報を必要としています。日ごろの努力が報われるようにするためにも、県への事業報告だけではなく、より積極的な情報の開示に取り組みませんか。

IHOE（人と組織と地球のための国際研究）は全国の53のNPO助成機関に助成金申請書と報告書の設問項目の調査をし「社会から信頼や支援を得るためにNPOが情報開示すべき事項」をまとめた「団体基本情報シート」を作成しました。

そこで、今回は、この「団体基本情報シート」をもとに、財団などにどのような説明をすればいいか、申請書類や報告書を作成する際のポイントを学び、実際にシートへの記入を試みるワークショップを行います。この作業に参加いただくことで、今後の助成金申請がしやすくなるだけでなく、人にあった時に渡せる説明資料を作成することができます。

また、日本財団が開設している公益情報ポータルサイト「CANPAN」も紹介します。このサイトでは簡単に団体ブログを立ち上げることができます。

わたしたちは、社会に積極的に参加や協力を求めていくNPOと支援者を結ぶ「情報の市場」と、それにもとづく民間資金が流れる「寄付市場」をつくらうと取り組んでいます。頑張っているNPOが市民に選ばれ発展していく仕組みを一緒につくっていきましょう。ご参加お待ちしております。

◆日時：2007年10月27日（土）13:30～16:30（13時開場）

◆会場：つくば市市民活動センター 会議室（つくば市吾妻1-10-1）

◆対象：NPO関係者（団体の情報開示を実践している方、取り組もうとしている方）
中間支援組織、ボランティアセンター、助成団体など

◆内容：

- （1）解説「『NPOの情報開示』の基礎」（「団体基礎情報シート」の紹介）
- （2）記入ワーク「団体の基本的な情報を表現してみよう」
- （3）CANPANのご紹介
- （4）意見交換「地域でNPOの情報開示が広がっていくには」

◆報告者：川北秀人さん（IHOE代表）
赤澤清孝さん（IHOE客員研究員）

◆CANPANのご紹介：町井則雄さん（日本財団CANPANチーム）

◆定員：30人（先着順）

◆参加費：1,500円（コモンズの会員は1,000円）

◆主催：茨城NPOセンター・コモンズ <http://www.npocommons.org>

◆共催：IHOE [人と組織と地球のための国際研究所] <http://blog.canpan.info/iihoe/>

◆協力：CANPANセンター <http://canpan.info/>

◆お申込み方法（先着順）

氏名・所属団体・役職・連絡先住所・電話番号・FAX・Eメールアドレスをコモンズまでお知らせください。

TEL：029-300-4321 FAX：029-300-4320 MAIL：info@npocommons.org

* 申込締切は、10月24日（水）です。

コモンズ 行き (FAX 029-300-4320)

支援を受けるための団体情報の開示「入門ワークショップ」 in 茨城
(10月27日開催)

参加を申し込み書

氏名

所属団体名

役職

連絡先住所 〒 —

TEL

FAX

MAIL

コモンズ行き (FAX 029-300-4320)

(手書きでなく、データで入力したい場合はコモンズにご連絡下さい。ワードのファイルをお送りします)